|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国語科 | 第2学年 | 竹原市立賀茂川中学校 | Ｂグループ |

**単元名**

**本単元で育成する資質・能力**

**思考力・表現力・判断力　主体的に学ぶ力**

**勇者ってなんだ？「走れメロス」**

竹原市立賀茂川中学校

三原市立第五中学校

尾道市立向島中学校

府中市立第一中学校

神石高原町立神石高原中学校

**１　日 時**　　令和３年11月９日（火）

**２　学 年**　　第２学年（男子８名，女子10名）

**３　場 所**　　２年Ａ組教室

**４　単元について**

**【単元観】**

本単元は，中学校学習指導要領解説国語編　第２学年　思考力，判断力，表現力等におけるＣ読むことの指導事項（１）イ「目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり，登場人物の言動の意味などについて考えたりして，内容を解釈すること」を基に，登場人物の言葉や行動が，話の展開や作品の魅力にどのように関わっているかを捉える力を付けることを目的に設定した。

上記の力を育成するには，登場人物の表情や情景等の多様な描写や登場人物の言動から様々な解釈をしたり，他者の読み手の解釈と比較したりすることを通して考えていくことが必要となる。

　本教材「走れメロス」は，登場人物の言葉や行動，描写から多様な読みができる。さらに「勇者とは何か」に視点を置くことにより，登場人物のそれぞれの言動の意味を深く考えて勇者は誰なのか決定し，他者の意見と比較することで「勇者」について深く掘り下げることができるので，本教材は「登場人物の言葉や行動が，話の展開や作品の魅力にどのように関わっているかを捉える」力を育成するのに適した教材であるといえる。

**【指導観】**

言語活動として，「勇者度ランキング」の作成を設定する。勇者という親しみやすい言葉であるため考えやすいが，「勇者は、ひどく赤面した。」と本文にあり，生徒のイメージとは乖離しているため，勇者とはどのような人物なのか深く考えることができる。

①主体的な学びにつなげるための工夫

・自分の意見をもつことが苦手な生徒に対して，まずはランキングを作成することで自分の意見をもたせやすくする。また，勇者という言葉はゲームやファンタジー小説等の中に出てくるものであり，生徒が関心をもちやすい視点であると考える。

②学び合いによって深めるための工夫

・ジグソー法を用いて意見を交流することにより，根拠を見いだすことが難しい生徒の手助けを行う。また，多様な根拠に触れることを通して，同じ意見でも多角的な視点をもつことで，意見に深まりが出ることを理解する。

③他の文脈でも活用できる力にするための工夫

・並行読書を行い，様々なジャンルの書籍から勇者について考えることを通して，登場人物の言動の意味を考え，内容を解釈することができる力を他の文脈でも活用できるようにする。

**【生徒観】**

　１学期期末試験にて行った文学的文章「辞書に描かれたもの」では，登場人物の行動や描写から心情を読み取る問題について，以下の結果となった。

描写から心情を読み取る問題

|  |  |
| --- | --- |
| 正答 | ０人 |
| 一部不十分な解答 | 10人 |
| 不正解 | ４人 |
| 無解答 | ３人 |

行動から心情を読み取る問題

|  |  |
| --- | --- |
| 正答 | 12人 |
| 一部不十分な解答 | １人 |
| 不正解 | １人 |
| 無解答 | ３人 |

（18人中１名欠席）

　このことから，心情を読み取る問題について，既習の知識を活用して取り組もうとしていることが分かる。しかし，登場人物の行動や描写から心情を読み取る力が不十分であるため，正答となる解答を導くことが難しい。そのため，登場人物の行動や描写から心情を分析する力をつける必要があると考えられる。

**５　単元の目標**

・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。

【知識及び技能（２）ア】

・登場人物の言動の意味などについて考え，内容を解釈することができる。

【思考力，判断力，表現力等　Ｃ読むこと　（１）イ】

・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりすることができる。　　　　　　　　　　　【思考力，判断力，表現力等　Ｃ読むこと　（１）オ】

・言葉がもつ価値を認識するとともに，読書を生活に役立て，我が国の言語文化を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする。　　　　　　　　　　　　　　　　　　【学びに向かう力，人間性等】

**６　単元の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解し，使っている。  【（２）ア】 | ①「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。　　　　　　【Ｃ（１）イ】  ②「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。【Ｃ（１）オ】 | ①積極的に登場人物の言動の意味などについて考え，学習課題に沿って考えたことを文章でまとめようとしている。 |

**7　指導と評価の計画（全７時間）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 学習内容（時数） | | 評価 | |
| 評価規準 | 評価方法 |
| 一 | 課題の発見・設定（１）  ○勇者について自分のイメージをまとめる。  ・勇者と呼ばれている様々な人物，キャラクターのスライドを見せ，共通点は何かを考える。  ・自分が考える勇者について，定義する。  課題　勇者とは何か | 並行読書（勇者が出てくる小説・伝記・昔話・詩等） | ・学習課題に向けて，「勇者」について考えたことを文章でまとめようとしている。［主体的に学習に取り組む態度①］  ※変容を見取るための資料として活用。 | ワークシート |
| 二 | 情報の収集・整理（２）  ○「走れメロス」通読  ○登場人物について  ・メロス・王様・セリヌンティウスの人物像について考える。  ・メロスが勇者である根拠を本文の中から探す。  ・「勇者は、ひどく赤面した。」とあるが，メロスのどのような行動・言動が勇者につながるのか考える。 | ・登場人物の言動や行動から場面分けを行い，主要人物の人物像を捉えることができる。［思考・判断・表現①］  ・メロスの言動や行動から，メロスが勇者かどうか解釈することができる。［思考・判断・表現①］ | ワークシート  ワークシート |
| 三 | 創造・表現（２）  ○勇者について  ・「走れメロス」の中で，勇者は誰かを考える。  ・勇者度ランキングを作成し，１位～３位を決定する。  ・勇者度ランキング１位の登場人物について，一番勇者らしいと考えた根拠を考える。  ・スライドを一枚作成する。  ○グループ協議【本時】  ・ジグソー法を用いて，勇者度ランキング１位に選んだ登場人物ごとにグループをつくり，意見を交流する。  ・以下の四点を踏まえて自分の意見をまとめる。  ①自分が考える勇者について定義する。  ②「走れメロス」で勇者だと思う人物について，根拠を明確にしてまとめる。  ③並行読書で捉えた勇者について述べて，自分の考えの説得力を高める。  ④新聞記事や名言も踏まえて述べ，自分の考え　　の説得力を高める。 | 並行読書（勇者が出てくる小説・伝記・昔話・詩等） | ・勇者度ランキング１位の人物についての意見と根拠を明確にして，情報を整理することができる。［知識・技能］  ・勇者度ランキング１位の登場人物についての意見交流を通して，他者の考えやその根拠に共感したり，自分の考えと対比したりすることができる。［思考・判断・表現②］ | スライド  ワークシート  スライド |
| 四 | まとめ・振り返り（２）  ○勇者について交流  ・前時で考えた意見について，班で交流する。  ・スライドに納得した点，納得できない点をコメントする。  ・違う立場の意見を踏まえ，最終的に自分の考えをまとめ，再度勇者度ランキングを作成する。  ・振り返りを行う。  ○評価問題  ・これまでの学習を振り返る。  ・「ヤクーバとライオンⅠ勇気」のヤクーバが勇者か否かの問題を解く。 | ・勇者について様々な立場の意見交流を通して，他者の考えやその根拠に共感したり，疑問をもったり，自分の考えと対比したりすることができる。［思考・判断・表現②］  ・「勇者とは何か」という課題に向けて，多角的な視点から考え，まとめようとしている。［主体的に学習に取り組む態度①］ | ワークシート  スライド  ワークシート |

**８　本時の学習**

**（１）本時の目標**

「勇者」について定義し，「走れメロス」では誰が勇者か，登場人物の言動や他の資料から読み取ったこと等，多角的な観点から根拠を考えることができる。

**（２）本時の評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価規準 | 判断基準 | | |
| Ａ | Ｂ | Ｃ |
| ・勇者度ランキング１位の登場人物についての意見交流を通して，他者の考えやその根拠に共感したり，自分の考えと対比したりすることができる。［思考・判断・表現②］ | ・勇者度ランキング１位～３位を記入し，登場人物の言動や行動から勇者である根拠を明確に記述しており，他の資料から得た情報をもとに説得力のある意見となっている。 | ・勇者度ランキング１位～３位を記入し，登場人物の言動や行動から勇者である根拠を記述しており，他の資料から得た情報をもとに意見を述べている。 | ・勇者度ランキングの  １位～３位を記入し，登場人物の言動や行動をもとに自分なりの理由付けができている。 |

**（３）準備物**

電子黒板，クロームブック，スライド，ワークシート（協議メモ用・これまでの授業で使用したもの），選書

**（４）学習の展開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | | ◇指導上の留意事項  ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への  指導の手立て | 評価規準  （評価方法） |
| つかむ | **１　本時の見通しをもつ。**  （７分）  ①前時までの学習を振り返る。  ・作成した勇者度ランキングを振り返る。  主体性を高める【自己の課題を再認識する】  勇者について考えるために，多角的な視点で考えることが必要な視点を抑える。  ②本時の目標を理解する。  話し合いを通して、勇者度ランキング1位だと考える人物の説得力を高めよう。 | ◇前時に使用したスライドを振り返りながら説明をする。  ◇勇者度ランキングを作成するにあたり，「勇者」の定義を考える必要性があることを再度確認する。 |  |
| 考える  深める | **２　勇者度ランキング1位に選んだ生徒同士で意見を交流する。**（35分）  ①自分が現時点で考えた意見をグループで発表する。  （10分）  ②グループの意見を踏まえ，自分のスライドをより良いものにする。　　　　　（20分）  ③メロス，王様，セリヌンティウスの各グループから一つずつスライドを紹介する。（５分） | ◇並行読書から発見した資料を活用しながら説明ができるよう促す。  ◆グループの意見をメモし，スライドの作成に活かすよう個別に声をかける。  ◇吟味の視点を活用し，グループ内の意見を検討するよう助言する。  ◇グループで出た意見を吟味し，自分の意見に付け加えるべき根拠か考える。  思考を深める【グループで説得力のある根拠となっているか確認をする。】  　グループで質問を行い，自分では気づくことができなかった文脈のずれを理解し，的確な理由付けをさせる。  ◇指導者がスライドを表示し，まとめ方について助言する。 | 「勇者」について定義し，誰が勇者か，登場人物の言動や他の資料から読み取ったこと等，多角的な観点から根拠を考えることができる。  （スライド，ワークシート） |
| ふりかえる | **３　学習内容を振り返る。**  （８分）  ①本時の学習内容や目標を達成するために大切だと感じたことをまとめる。（５分）  ②全体で交流。（３分） | ◇学習内容と有効な手立て，疑問点や困難な点をまとめる。  ◆本時の学習内容を説明させる。  生徒の振り返り例  ・メロスは王様との約束を守ったから勇者だと思っていた。しかし，友達の意見を聞いて，自分の弱い心に打ち勝つ姿からも勇者だと読み取れると思った。  ・並行読書から読み取った内容について考えることで，いろんな根拠から勇者が定義づけられるということが分かりました。 |  |

**9　板書計画**

勇者ってなんだ？「走れメロス」

本時の目標

話し合いを通して、勇者度ランキング１位だと考える人物の説得力を高めよう。

メロスは，正義感があるから勇者である。

問い

他に，メロスに正義感があることの根拠になる事実はありませんか。

問い

なぜ，正義感があると読み取ったのですか。

王を許しておけぬと言って一人で王城へ入っていったからです。

メロスは心も体も疲れ果てていたが，約束のとおり，王城へ帰ってきたからです。

しかし，その約束を一度，破ろうとしています。ずっと守るために行動していたわけではないことについてはどう思いますか。

一人で王城へ行くことは無謀で浅はかなことだと思うけれど，その行動は勇者といえるのですか。

新聞記事に，「一度は諦めかけたが五輪の決勝の舞台に立てた。」とあり，一度失敗したり約束を破ったりしたからと言って，勇者でなくなるわけではないと思います。

シラーの名言に「勇者は一人ある時に最も強し。」とあるので，勇者だと思います。

後先考えずに行動することは勇者と言えるのでしょうか。

※電子黒板は，スライドの説明，吟味の視点の説明，生徒の意見の表示に使用。

**10　吟味の視点と具体的な問いについて**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 視点 | 視点の具体的な内容 | 問い | 問いの具体的な内容 |
| Ａ | 根拠とした事実が適切かどうか判断する。 | ① | 「根拠としたのは，どういう事実ですか。具体的に説明してください。」 |
| ② | （根拠とした事実に，書き手の極端な解釈が含まれていると判断した場合）  「なぜ，〇〇〇と読み取ったのですか。」 |
| Ｂ | 「理由付け」の妥当性や裏付けを明らかにする。 | ③ | （理由付けの内容が具体的でない時）  「〇〇〇とは，どういうことですか」 |
| ④ | 「なぜ，〇〇〇だと勇者なのですか。」  「なぜ，〇〇〇といえるのですか。」 |
| Ｃ | 根拠となる事実が最も適切な内容か判断する。 | ⑤ | 「根拠となる事実は，他にはありませんか。」 |
| Ｄ | 例外を考える必要性があるか検討する。 | ⑥ | 「この考えは，全ての場合において成立しますか。」 |